

日本語教師育成センター開所式の実施

平成30年7月23日

在インド日本大使館

国際交流基金ニューデリー-日本文化センター

7月23日ジャワハルラル・ネルー大学（JNU）において、日本語教師育成センター開所式が行われ、日本側より平松賢司大使、櫻井友行国際交流基金理事他が、またインド側より、V. K. シン外務閣外大臣、ジャガデシュ・クマールJNU副学長等が出席しました。

昨年9月の安倍総理訪印の際に行われた日印首脳会談において、今後5年間で、インドの100の高等教育機関において認証日本語講座を設立し、1000人の日本語教師を育成する取組を行うことが決定されたのを受け、日印両国は、この決定実現のため共に取り組んできました。今回の日本語教師育成センターの開所は、両国の取組の最初の大きな成果です。

日本語教師育成センターの活動は、国際交流基金の協力のもと、在インド日本大使館及びインド外務省が共同で運営を行っており、同日には、最初の育成コースが開始されました。開所式へは第1期生となる生徒も出席しました。育成コース第1期生は、これから10月まで、3か月間のコースを受講します。また、その他のコースも、今後順次開催されていく予定です。

開所式で、平松大使は、日印両国の関係者による尽力を多とするとともに、インドにおける日本語教育振興の取組は我が国がインドの「メイク・イン・インディア」政策を支援する上でも重要であることを述べました。また、櫻井国際交流基金理事は、本事業を通じ、優秀な日本語教師が育成され、多くの高等教育機関で日本語教育が始まることを期待すると述べ、今後、教師となる約30名の第1期生を激励しました。インド側よりは、V. K. シン外務閣外大臣は、日本は重要なパートナー国であり、インドでの日本語の普及は、お互いの理解を助け、これからインドで起こる日本企業による様々な事業を促進することになると述べました。



